

# 中学校・高等学校 キャリア教育の手引き

—中学校・高等学校学習指導要領(平成29年・30年告示)準拠—

令和5年3月



文部科学省



## はじめに

今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されています。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は、大きくまた急速に変化しており、予測が困難な時代となっています。

このような時代の中でも、生徒一人一人が、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を発揮し多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となることができるよう、生徒の生きる力を育むことが目指されています。

「キャリア教育」という用語が文部科学行政関連の審議会報告等で初めて登場したのは、中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について（平成11年12月）」においてでした。本答申では「学校教育と職業生活との接続」の改善を図るために、小学校段階から発達段階に応じてキャリア教育を実施する必要があると提言されています。

その後、様々なキャリア教育推進施策が展開されましたが、平成18年におよそ60年ぶりに改正された教育基本法においては、「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培う」ことが、義務教育の目的の一部に位置付けられました。翌年改正された学校教育法では、新たに設けられた義務教育の目標の一つとして「職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと」が定められ、小学校からの体系的なキャリア教育実践に対する法的根拠が整えられました。

また、平成23年1月の中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」では、幼児期の教育から高等教育までを通したキャリア教育・職業教育の在り方がまとめられました。さらに、平成29年・30年改訂の中学校・高等学校学習指導要領では、「生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。」と示されました。生徒に学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すキャリア教育の充実を図ることが求められています。そして、生徒が自己の在り方・生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うことも求められています。

このような中、本書が各中学校・高等学校はもとより、関心をお持ちの多くの方々に広く活用され、キャリア教育の指導内容・指導方法の充実に役立てられることを念願しております。

末尾となりましたが、本書の作成に当たり御尽力を賜りました作成協力者及び関係の皆様へ深くお礼申し上げます。

初等中等教育局長 藤原 章夫

# 中学校・高等学校キャリア教育の手引き

## —中学校・高等学校学習指導要領(平成29年・30年告示)準拠— 目次

### ●はじめに

## 第1章 キャリア教育とは何か

### 第1節 これまでのキャリア教育推進施策の展開と課題 …………… 6

- 1 若年者の雇用・就労問題の顕在化とキャリア教育の提唱
- 2 キャリア発達に着目した能力論の提唱
- 3 職場体験活動への焦点化
- 4 その後の主な施策の展開
- 5 草創期から10年を経たキャリア教育が残した主な課題

### 第2節 キャリア教育を通して育成すべき能力「4領域8能力」 …………… 10

- 1 文部省委託研究による「4領域12能力」論
- 2 「4領域8能力」論の開発と提唱
- 3 「4領域8(12)能力」論の意義

### 第3節 「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」提唱後の展開 …………… 13

- 1 「4領域8能力」の画一的な運用
- 2 本来目指された能力との齟齬
- 3 生涯にわたって育成される一貫した能力論の欠落

### 第4節 キャリア教育を通して育成すべき「基礎的・汎用的能力」 …………… 17

- 1 「4領域8能力」の画一的な運用からの脱却
- 2 キャリア教育の新たな定義
- 3 社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力
- 4 勤労観・職業観の位置付け

### 第5節 基礎的・汎用的能力を構成する四つの能力と今後の実践 …………… 21

- 1 基礎的・汎用的能力を構成する四つの能力
- 2 基礎的・汎用的能力に基づくキャリア教育実践の方向性

(コラム) 「キャリア発達」についても少し詳しく……

### 第6節 平成29年・30年告示の学習指導要領におけるキャリア教育 …………… 27

- 1 小中高、総則にキャリア教育を明示
- 2 キャリア教育の中核となる時間
- 3 キャリア教育の中核となる活動
- 4 「キャリア・パスポート」の導入
- 5 キャリア・カウンセリング
- 6 職業に関する体験活動

(コラム) 「キャリア教育に関する総合的研究」から

## 第2章 キャリア教育推進のために

### 第1節 校内組織の整備 …………… 40

- 1 キャリア教育の推進と校長の役割
- 2 生徒に対する指導体制
- 3 実践を支える運営体制

### 第2節 教職員の研修 …………… 43

### 第3節 全体計画の作成 …………… 44

- 1 全体計画の基本的な考え方
- 2 身に付けさせたい資質・能力の設定

### 第4節 年間指導計画の作成 …………… 46

- 1 年間指導計画の基本的な考え方
- 2 年間指導計画・単元指導計画の作成
- 3 キャリア教育を進める際の留意点

### 第5節 学校、家庭、地域の連携・協働 …………… 48

- 1 キャリア教育における連携の経緯と基本的な考え方
- 2 家庭・保護者との連携
- 3 地域や働く人との連携
- 4 学校間(異校種間)連携

### 第6節 評価 …………… 51

- 1 評価の基本的な考え方
  - 2 生徒の学習状況の評価
  - 3 教師の学習指導の評価
  - 4 各学校の指導計画の評価
- (コラム) このような連携・協働も……

## 第3章 中学校におけるキャリア教育

### 第1節 中学校におけるキャリア発達 ..... 58

- 1 現実的探索と暫定的選択の時期にある中学生期
- 2 中学校のキャリア発達課題を踏まえた目標設定
- 3 学年ごとのキャリア発達の主な特徴を踏まえた目標設定

### 第2節 中学生期のキャリア発達課題 ..... 60

- 1 第1学年の発達課題を踏まえた取組例／岩手大学教育学部附属中学校
- 2 第2学年の発達課題を踏まえた取組例／津久見市立第一中学校
- 3 第3学年の発達課題を踏まえた取組例／東京都立武蔵高等学校附属中学校

### 第3節 キャリア教育推進のためのカリキュラム・マネジメント ..... 66

- 1 各学校における身に付けさせたい力(資質・能力)の設定  
【事例1・2】朝来市立朝来中学校  
【事例3】鹿児島市立伊敷中学校
- 2 各学校におけるキャリア教育全体計画・年間指導計画の作成  
【事例1】  
【事例2】足立区立第十二中学校  
(コラム)先進校の「キャリア教育年間指導計画」

### 第4節 校種間連携, 教科等間連携 ..... 77

- 1 キャリア教育推進のための校種間連携, 教科等間連携
- 2 事例で見る「校種間連携, 教科等間連携」  
【事例1】赤穂市立赤穂中学校  
【事例2】南あわじ市立南淡中学校

### 第5節 中学校における外部人材・関係機関との連携 ..... 80

- 1 体験活動における外部人材・関係機関との連携の意義
- 2 事例で見る外部人材・関係機関と連携した体験活動  
【事例1】丹波篠山市立篠山中学校  
(コラム)職場体験活動の体験先, どのように決めますか?

### 第6節 「キャリア・パスポート」の活用とキャリア・カウンセリング ..... 84

- 1 「キャリア・パスポート」の活用とキャリア・カウンセリング
- 2 事例で見る「キャリア・パスポート」の活用とキャリア・カウンセリング  
【事例1】世田谷区立富士中学校  
【事例2】世田谷区立世田谷中学校

## 第4章 高等学校における キャリア教育

### 第1節 高等学校におけるキャリア発達 ..... 88

- 1 高校生期におけるキャリア発達の捉え方
- 2 キャリア発達課題を踏まえた具体的な取組の基盤

### 第2節 高校生期のキャリア発達課題 ..... 90

- 1 入学から在学期間半ば頃までの発達課題と取組の基本的な考え方／自分を知る
- 2 在学期間半ば頃から卒業を間近にする頃までの発達課題と取組の基本的な考え方／自己理解・他者理解

### 第3節 キャリア教育推進のためのカリキュラム・マネジメントの鍵となる「身に付けさせたい力」 ..... 94

- 1 各校における「身に付けさせたい力」(全体目標や学年の重点目標等)の明確化  
【事例1】高知県立須崎総合高等学校  
【事例2】広島県立福山商業高等学校  
【事例3】広島県立広島商業高等学校
- 2 高等学校における教科・科目等横断的な取組  
(コラム)総合的な探究の時間を中核とした「地域課題解決学習」

### 第4節 高等学校における外部人材・関係機関との連携 ..... 104

- 1 就業体験活動(インターンシップ)について  
【事例】宮城県仙台向山高等学校
- 2 将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応  
【事例】岡山県立和気閑谷高等学校対応  
(コラム)産業界の優れた教育支援活動を表彰する「キャリア教育アワード」

### 第5節 「キャリア・パスポート」の活用とキャリア・カウンセリング ..... 111

- 1 「キャリア・パスポート」とは何か
- 2 「キャリア・パスポート」を活用したキャリア・カウンセリング  
(コラム)「キャリア・パスポート」のねらいや意義をどう伝えるか

## 第5章 キャリア教育の実践

### 中学校におけるキャリア教育の実践

……………116

- 《国語科》互いの立場や考えを尊重しながら話しあう
- 《社会科》私たちと経済
- 《数学科》データの分析と活用
- 《理科》動物の体のつくりと働き
- 《保健体育科》器械運動・マット運動
- 《技術・家庭科》快適で持続可能な衣生活
- 《総合的な学習の時間》自分たちの未来
- 《特別の教科道徳》働くことの尊さ
- 《学級活動》何を学び、どう生かすのか～学びと将来に軸をつなぐ～

### 高等学校におけるキャリア教育の実践

……………152

- 《国語科》作品から自分なりのメッセージ性をつかんで発表する
- 《地理歴史科》近代化への問い
- 《公民科》公共の扉をひらこう
- 《数学科》データの分析
- 《理科》物質の化学
- 《理科》地球の環境
- 《外国語科》School Rules
- 《商業科》ビジネスの創造と展開—事業計画を作成—
- 《情報科》情報社会の問題解決—今何をすべきかを考える—
- 《総合的な探究の時間》身近な課題の発見と解決
- 《特別活動》高校1年生の目標設定
- 《特別活動》将来を見通し目標を立てる
- 《特別活動》よりよい学校づくり